

国際シンポジウム 第19回ハイライフセミナー
[基調講演]

新たな都市機能を担う日本の ウォーターフロントの現状と展望

日本大学理工学部建築学科
教授 横内憲久

2010 2/21

■プロジェクト

大阪市南港

“南港コスモスクエアII”

チャンネルグランデ



COSMOSQUARE III

国際ビジネス拠点 咲洲コスモスクエア(第2期)



東京都 天王洲アイル
浮体式水上レストラン
“ウォーターライン”



《基調講演のおもなテーマ》

1. ウォーターフロントとは

- ・ウォーターフロントと水辺の違い

2. ウォーターフロント開発の台頭の要因

- ・なぜ都市のウォーターフロントが注目されたか

3. ウォーターフロント開発の変遷と現状

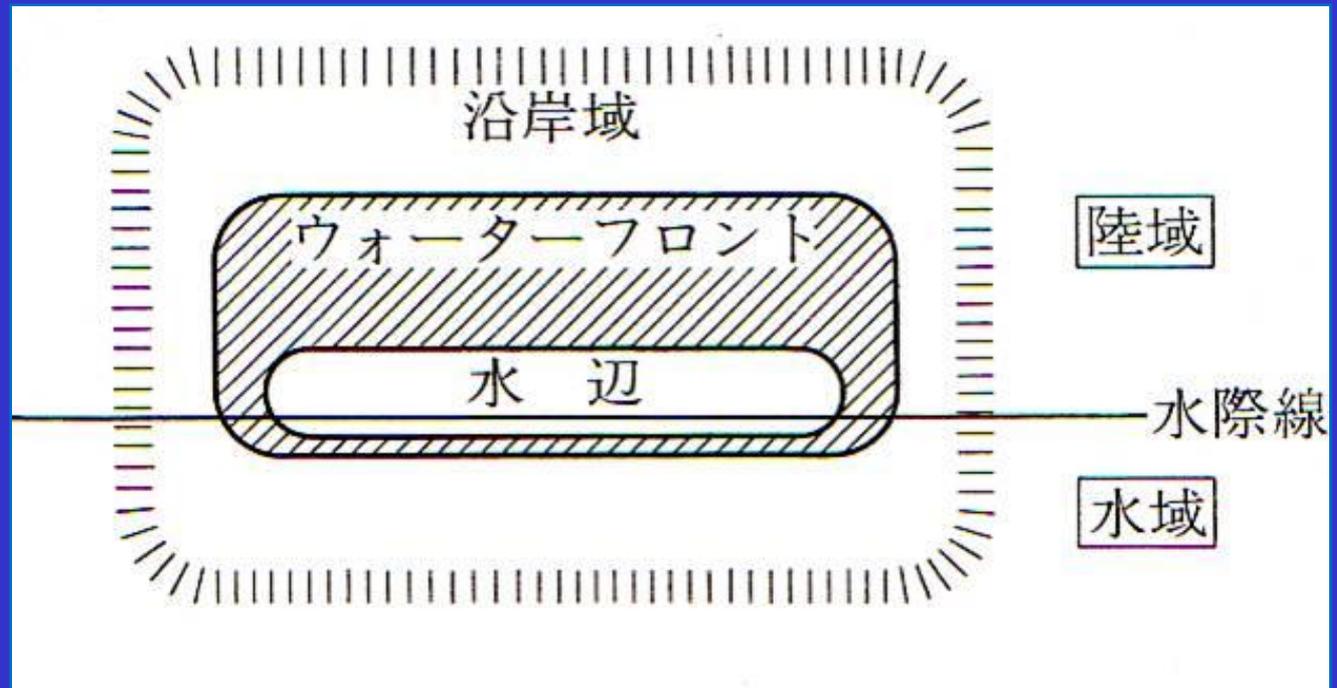
- ・ウォーターフロント開発は今どのような状況か

4. 今後のウォーターフロント開発の展望

- ・ウォーターフロントの新たな機能と意味

1. ウォーターフロントとは

- 「水辺」は水域との接近性が強い範囲。そのため陸域と水域との関連が濃く、文化・歴史的蓄積が豊富。
- 「ウォーターフロント」は水辺を含む都市的規模の範囲。まちづくり的意味合いが強い。



- ・陸域;
500m～2km
- ・水域;
200～300m

■ウォーターフロント開発の台頭の要因

- ①土地の高度利用の促進
- ②都市問題解決の場
- ③地域活性化の場
- ④アメニティ環境の希求
- ⑤自然への憧れ



2005年のお台場地区



1950年代のボルティモア(アメリカ)



1980年代の再開発後のボルティモア

3. ウォーターフロント開発の変遷と現状

現在は3回目のウォーターフロント開発のムーブメント期

■ 第1次ウォーターフロント開発…1970年代以前

高度経済成長期に物流・工業機能を中心にウォーターフロントを占有→臨海工業地帯の形成



千葉港



田子の浦港(静岡)

■ 第2次ウォーターフロント開発…1985～90年代

この時代がわが国でも海外でもウォーターフロント開発の基礎を築いた。土地の有効利用・地域活性化→**商業・業務機能の導入**



ベイ函館地区



大阪 天保山ハーバービレッジ



モザイク (神戸)



ガーデンふ頭 (名古屋)



みなとみらい21 (横浜)

第2次ウォーターフロント開発時 海外



フォスターシティ (米国サンフランシスコ郊外)
→ 居住機能の促進

Foster City (California) ~ U.S.A.

False Creek South Shore (Vancouver) ~ CANADA



↑ フォールスクリーク (バンクーバー)

↓ リバーウォーク (サンアントニオ)



River Walk (San Antonio Texas) ~ U.S.A.

■ 第3次ウォーターフロント開発…2000年前後～

この時代のウォーターフロント開発は水域の存在を強調するような地域個性を主張し始める。



東京港初の浮体式水上レストラン ウォーターライン（東京品川天王洲）
商業施設がウォーターフロントの陸から海に入り込んだ画期的な作品

ベルポート芦屋 (兵庫県)

係留権付住宅

自宅の庭先からヨットで
大阪湾に直接出られる。

芝浦アイランド (東京港区)



水上バス付住宅開発…芝浦と豊洲(ららぽーと)を直接結んで差別化を図る。

4. 今後のウォーターフロント開発の展望

都市がウォーターフロントという美しい景観・環境を得ただけでも大きな意味があるが、穏やかな海や河川・運河の水面とその陸域を使ったウォーターフロントの整備は、喫緊の社会問題を解決の方向に向ける一助にもなる。

① 高齢化問題

高質の医療、商業、娯楽といった都市サービスの享受／水辺の日当たりと空気の良さ、移りゆく景観の変化の楽しさ／多くの人々が集う(賑わう)水辺etc.

② 環境問題

ウォーターフロントにて水の可視性(水質・ゴミ)で環境を認知／認知は監視につながる／CO₂の削減のために水上交通を普及(モーダルシフト)etc.

③ 防災問題

水面による延焼防止／水路(水上交通)による避難・救援活動の円滑化etc.

④ 地域活性化

都市で最も魅力的な場所(ウォーターフロント)で多くの人々を集める／賑わいのある地域が活性化の基盤／ウォーターフロントを地縁的コミュニティの核とするetc.